

34人死亡

6-11, 12

1976年米・フィラデルフィアで初めて

感染症の年

肺炎インフルエンザ発生

◎ レジオネラ属 Genus Legionella

○ Legionella pneumophila

肺炎

⇒ 入院

43種が知られているが、*L. pneumophila* が起炎菌の 80-90% を占めている。河川、土壌などのほかに、冷却塔水、給湯給水タンクなどに生息する。

女子気性菌

今は52種

[病態]

2つの臨床型をとる。

① ポンティアック熱 Pontiac fever

インフルエンザ様の感冒症状を呈し、肺炎像はみられない。予後は良好。

② レジオネラ肺炎 (在郷軍人病: Legionnaires' disease)

2-10日の潜伏期。悪寒、全身倦怠感、高熱が先行し、乾性咳嗽、胸痛、呼吸困難を伴う。臨床所見として他の感染症との区別は困難。ただ消化器症状(腹痛、水様下痢、嘔吐)が 20-50% にみられる。

1. 呼吸器材料のグラム染色で、多核球、単球の数が多いわりに [菌] が認められない。
2. 一般細菌培養で、有意な [菌] の発育が認められない。
3. β -ラクタム剤、アミノグリコシド系、クリンダマイシンを 72 時間以上投与しても治療効果の得られない肺炎。

診断基準

ヒメネス染色

B-CYE α 寒天培地 $\hookrightarrow$ 狭い幅の pH

PCR (現在では *L. pneumophila* Lx 外を分離するのには使わない)

2004 年尿中抗原検査が保険適用
尿中にレジオネラの抗体が検出
 $\rightarrow$ 15min. で分かる

血清型 SG1 95%
その他の型 78%

$\downarrow$ *L. pneumophila* Lx 外 13%

[治療]

β -ラクタム系

本菌は、マクロファージなどの細胞内で増殖するため、細胞内移行性に優れた薬剤を用いる。

第1選択薬はニューキノロン系注射薬 (pasufloxacin, ciprofloxacin) であり、重症例ではさらにマクロライド系注射薬 (clarithromycin)、リファンピシンを投与する。imipenem は感受性とではあるが、実際には有効でない。現在薬剤の有効性を評価中。

2002年6月 宮崎県のレジャーランド

295名感染 7名死亡

100mLに100万個のレジオネラ

水中に住むアメーバに感染・増殖

細胞内寄生性

梅雨の時期の高湿度道路

$\rightarrow$ Legionella うじゃうじゃ